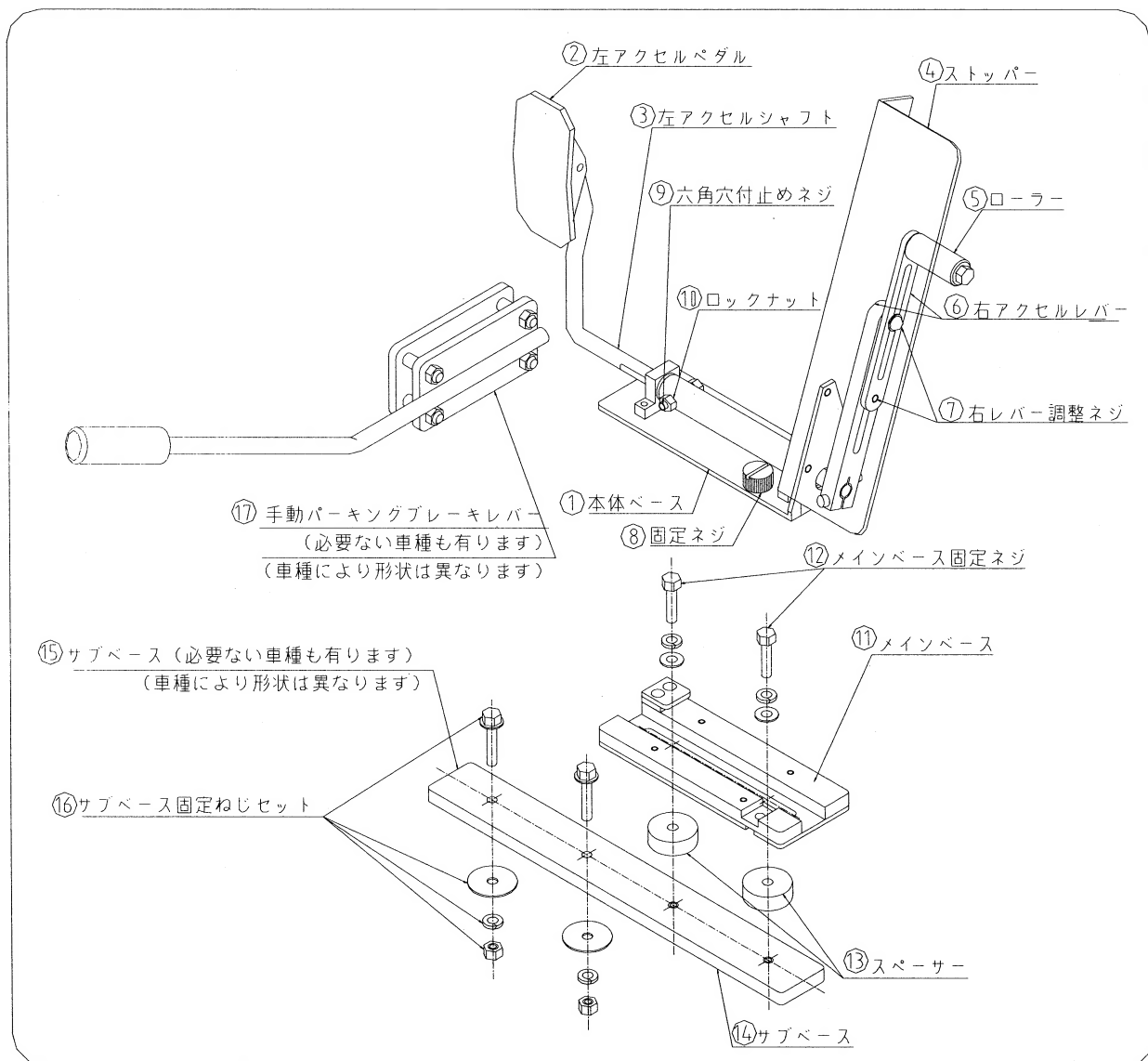
2009.4 第5版

レフティー
床置き式左アクセル運転装置
取付説明書

この度は、当社運転装置をお買い上げ頂き、厚く御礼申し上げます。
当運転装置は、通常右足で行うアクセルを、左足で操作出来る様にした装置です。
簡単な手順で取り外しする事ができ、右アクセルとの併用が出来ます。
当運転装置をお取付する前に、この説明書を最後までお読み頂き、充分にご理解の上お取付願います。

◎各部の名称

○足踏みパーキングブレーキ車は、手動パーキングブレーキレバーが必要な場合が有ります。

◎安全上のご注意

・万一取扱を誤りますと、負傷または事故につながる可能性が有ります。
・取付作業前に本取付説明書及び取扱説明書を十分お読みいただき、ご理解の上お取付下さい。
・点検、整備等につきましては、本取扱説明書とあわせて自動車整備手帳をお読み下さい

記号の説明

警告	必ず守って頂きたいこと	生命の危険や重大な事故を避ける為、必ず守っていただきたいこと
注意	注意していただきたいこと	注意事項を守らないと、ケガや事故につながったり、装置が破損するおそれがあります。

警告事項

警告

・必ず当社及び当社製品取扱店にて取り付けて下さい。
・本装置は障がい者用の左アクセル運転装置です。本来の使用目的以外には使用しないで下さい。
・健常者の方は、使用しないで下さい。
・使用者ご自身での分解、改造はしないで下さい。
・本説明書に記載されている以外の方法で使用しないで下さい。
・運転装置に異常が有る場合は、直ちに使用を取り止め、当社製品取扱店にて点検を受けて下さい。
・ストッパーは既設のアクセルペダルに干渉しないようにするためのものです。足を乗せたりし、フットレストと同様に踏まないで下さい。

注意事項

注意

・本装置の取付につきましては、取付け作業者が責任を負う事になりますので、必ず本書をお読み頂き、ご理解された上で作業を行ってください。
・取付業者様が試運転される場合、急発進等の誤操作をしない様充分ご注意下さい。
・固定ネジはネジ穴に対し垂直に入るようにして下さい。ネジ山を壊す可能性があります。
・隙間や穴等に指等を入れて挟まないように十分御注意下さい。
・装置に慣れるまで公道での運転には十分御注意下さい。
・１２ヶ月ごとに当社及び当社製品取扱店にて定期点検を受けることを推奨いたします。
・床にゴミ等が溜まると、本体が取付けベースに取り付けできない場合が有ります。定期的に掃除することを推奨いたします。
・取り外し後は、運転の邪魔にならない場所に保管下さい。

以上の点に反した使用をされた場合、保証出来ない場合が御座いますので御注意下さい。

◎取付け方法

①、床面に仮置きして取付け位置を決定します。

○右レバー位置の設定

・右レバーで既設アクセルペダルを押せる位置にセットします。

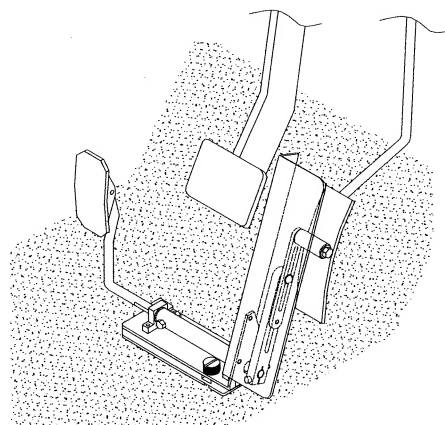
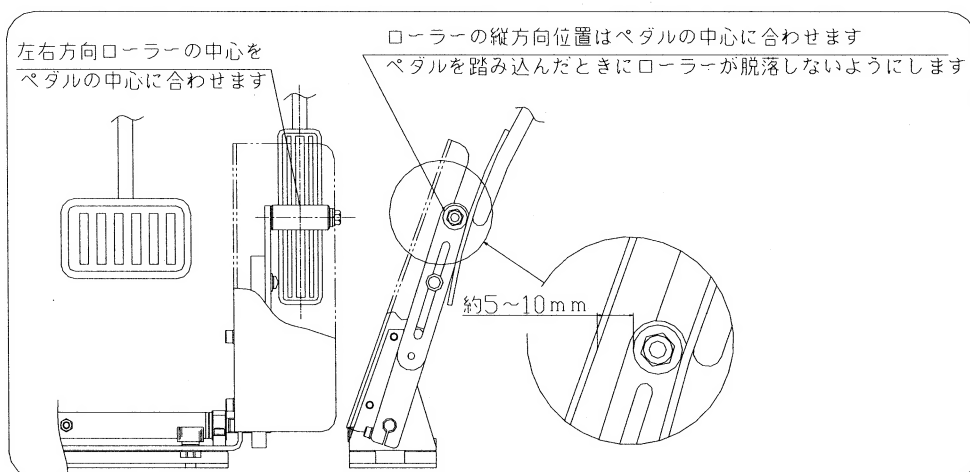
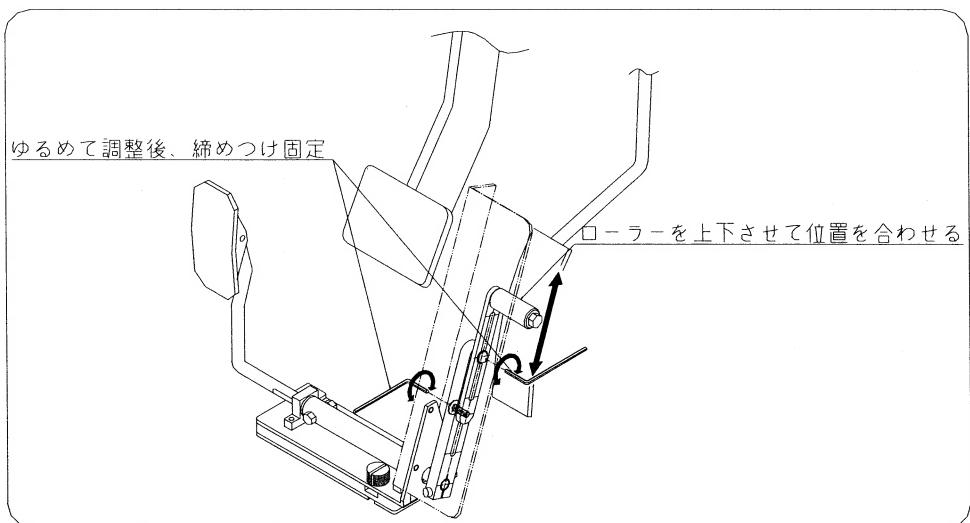
・右レバーローラーが既設アクセルペダルの左右上下の中心に
　来る位置を基準位置とします。(図－2 参照)

・ローラー位置は、ネジにより高さ調整する事が出来ます。(図－3 参照)

図-1

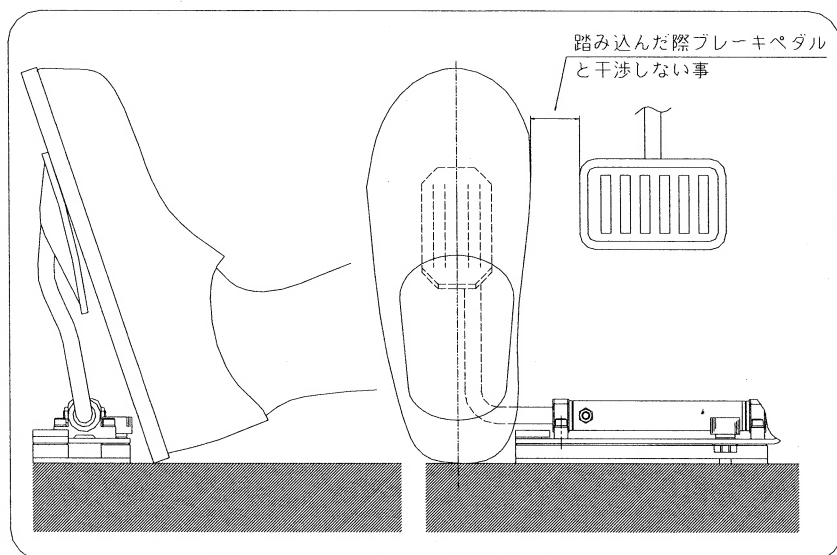
・ペダルを踏み込んだ時、ローラーが既設アクセルペダルより脱落しない様にします。

・操作した際、他のペダル等の物に干渉しないことを確認して下さい。

・ここでメインベースの位置を決定します。

図－2

図－3

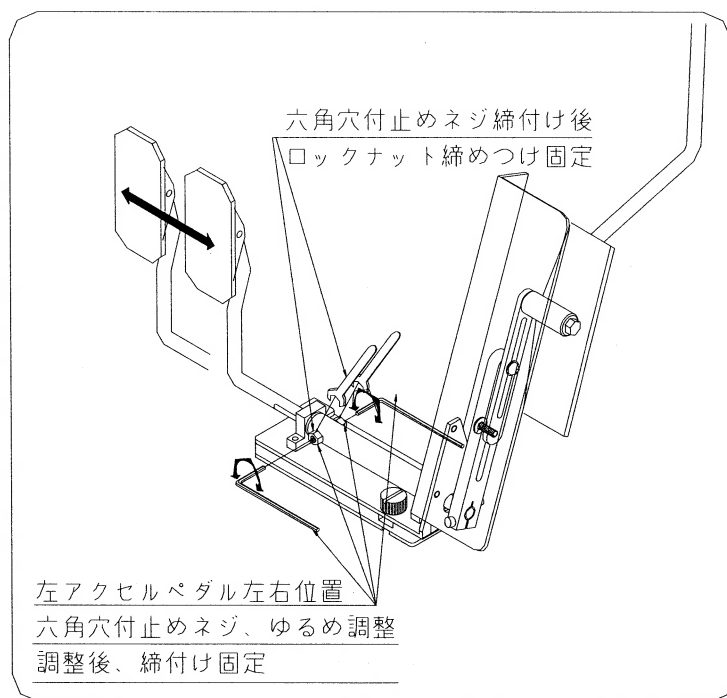
○左アクセルペダル位置の設定

・先程決定したメインベース位置で、左アクセルペダルが操作出来るように位置を決定します。

・操作した際、他のペダル等、他の物に干渉しないことを確認して下さい。（図－4 参照）

図－4

・六角穴付止めネジを緩め左右位置を合わせてください。（図－5 参照）

・位置が決定したら、六角穴付止めネジをしめつけ固定してください。（図－5 参照）

・六角穴付止めネジをしめ付け後、Ｍ１０ナットをしめて下さい。（図－7 参照）

図－5

○左アクセルペダル傾き角度の設定

・右アクセルレバー下の六角穴付ボルトを緩める事により、右アクセルレバーと左アクセルペダルの角度差を調整する事が出来ます。（図－6 参照）

・左アクセルペダルの位置は、右側ペダルと同じ高さを基準として合わせます。

・操作した際、他のペダル等、他の物に干渉しないことを確認して下さい。

・位置決定後、右アクセルレバー下の六角穴付ボルトを締めて固定してください。

・図－７のＭ１０ナットを締め、確実に固定させてください。

※（左右レバーを両手で掴み、捻ります。確実に固定されていることを確認して下さい。）

※（取付後、再度左アクセルを数回強めに踏み込み、確実に固定されていることを確認して下さい。）

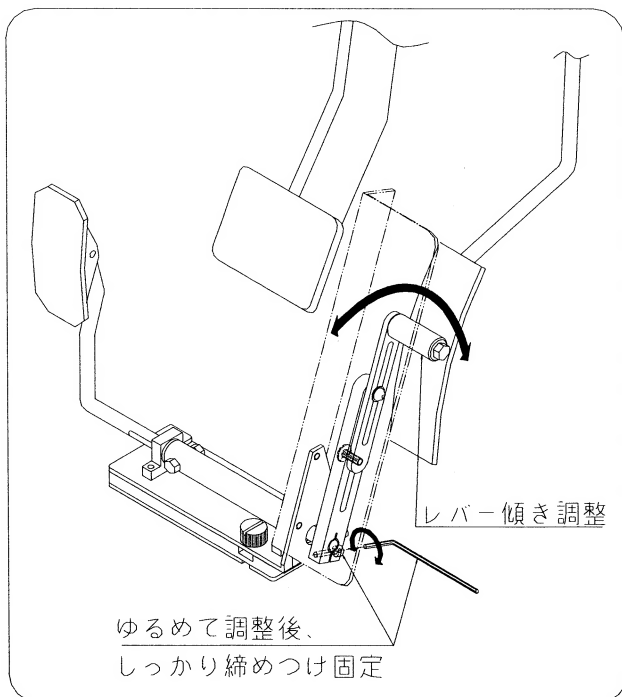
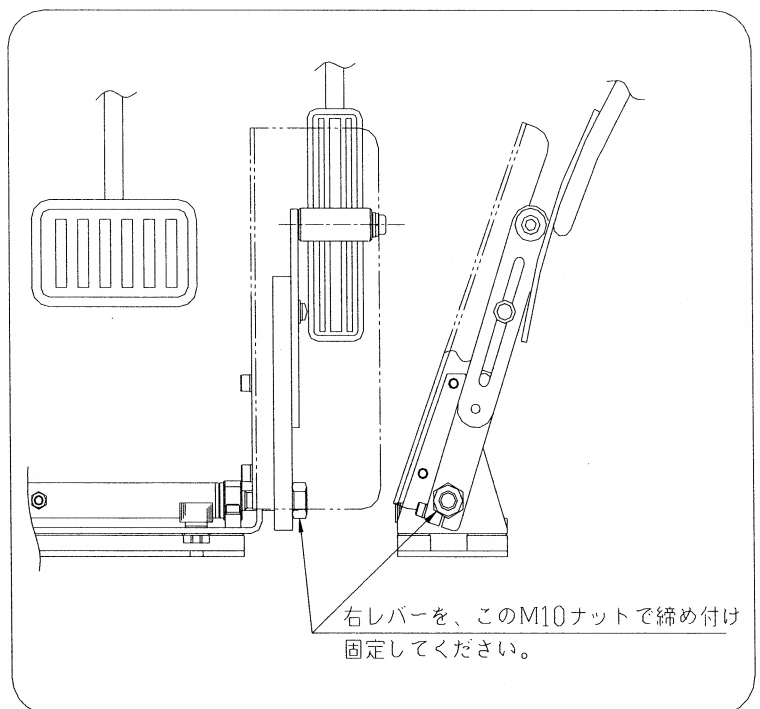
位置決定の留意点

・右レバーのローラーが、既設アクセルペダルの中心に来ること。

・ストッパーとローラーが干渉しない程度（5～10㎜ あける）に本体をアクセルペダルに近づけてセットします。

・左側アクセルペダルを操作した際に、ブレーキペダル、フットレスト等に干渉しないこと。

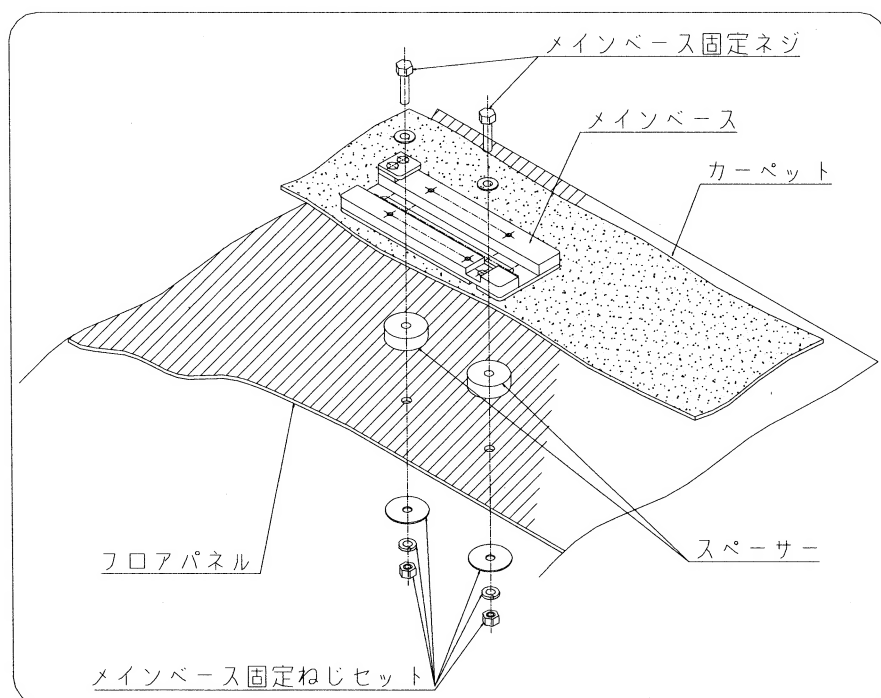
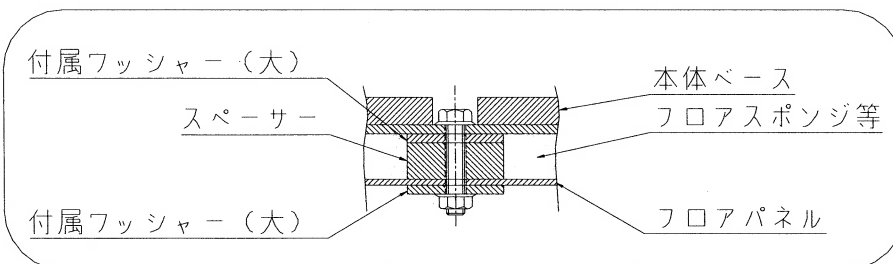
・左アクセルペダルを踏み込んだ際、ローラーが既設アクセルペダルより脱落しないこと。

・位置決定しそれぞれのネジを固定後、左アクセルペダルを踏み込み、ペダル、レバー等の位置が移動する事が無いことを確認して下さい。

図－6

図－7

②、ベースの取付け（図－8 参照）

注意：フロア面表裏にブレーキ配管、配線ハーネス等が無いことを確認して下さい。

注意：仮置きした位置の床面にフレーム等が有り、穴あけできない場合は、サブベースキットが必要になります。［次章、（サブベースが必要な場合）参照］

・仮置きした位置にカーペット上からポンチ等で穴位置をマーキングします。
・カーペットを剥がします。
・床面に穴（φ6.5～φ7.0）をあけます。
・カーペットとフロアの間にスポンジなどが有る場合、スペーサー及びワッシャー等で調整して、カーペット位置までカサ上げします。（図－9 参照）
・メインベースを付属ネジ（M6）でしめて取付けします。

図－8

図－9

○サブベースが必要な場合（図－10 参照）

フロア面裏等にブレーキ配管、フレーム等が有り、図－８の位置に穴あけできない場合、サブベースを使用して、ブレーキ配管、フレーム等を避けた位置に穴あけしてサブベースを取付します。

・仮置きした位置にサブベースを置き、穴あけ位置にカーペット上からポンチ等でマーキングします。
　サブベース固定ネジは、６０mm以上の間隔をあけて下さい。（タップ穴、中３個分の間隔あける）

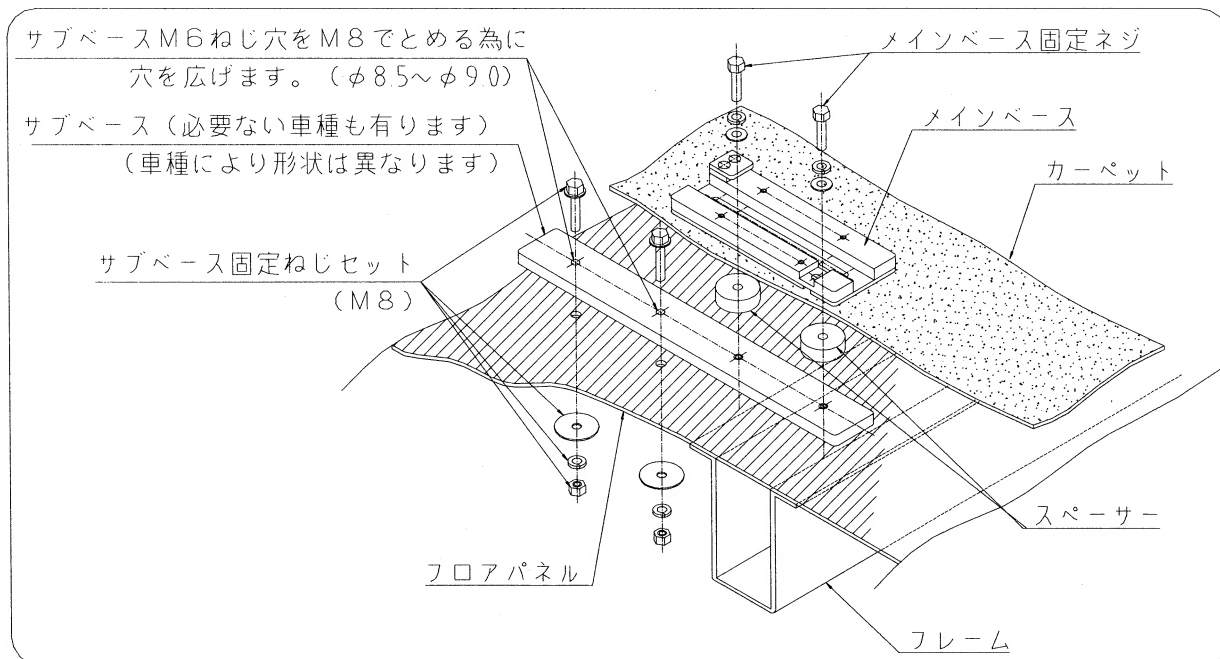
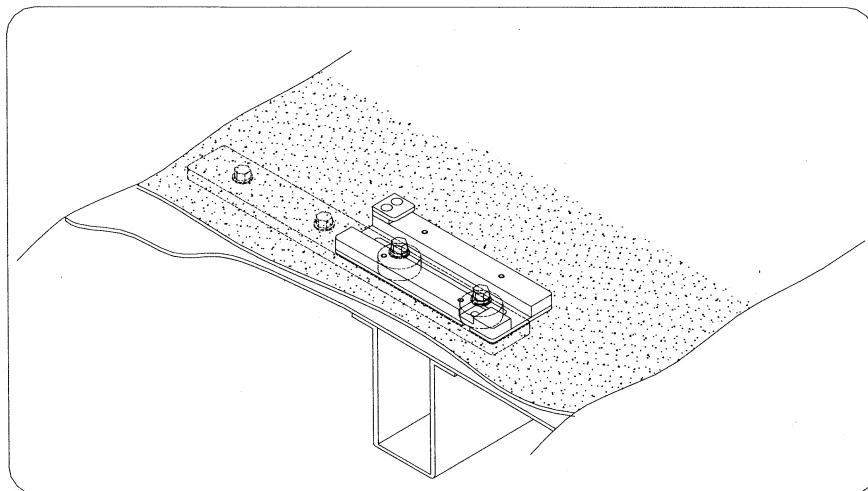
・サブベース側タップ穴（Ｍ６）を、サブベース固定ネジ（Ｍ８）で締める為、穴を広げます。
（φ8.5～φ9.0）

・カーペットを剥がします。

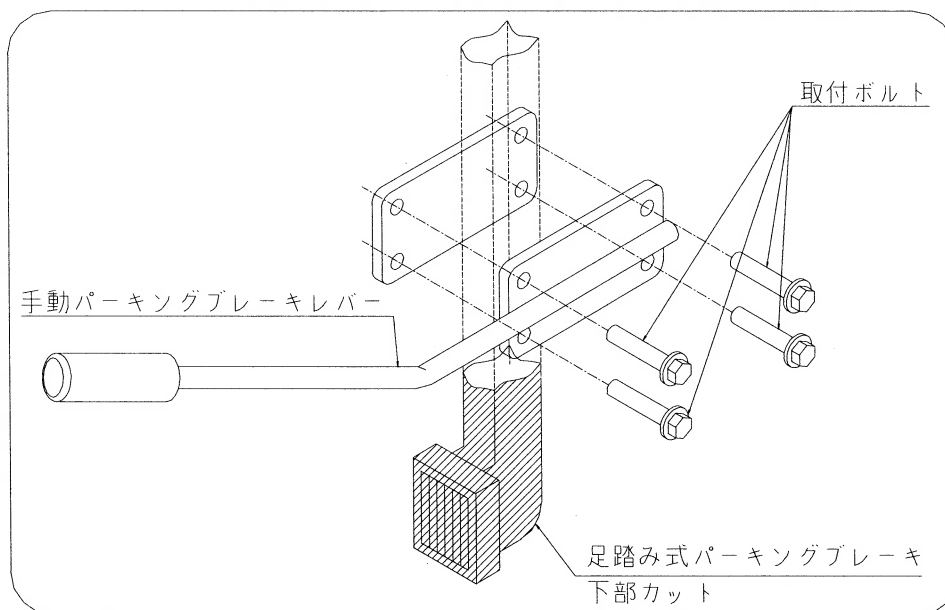
・床面のマーキング位置に穴（φ8.5～φ9.0）をあけます。

・カーペットとフロアの間にスポンジなどが有る場合、スペーサー及びワッシャー等で調整して、
　カーペット位置までカサ上げします。

・サブベースを付属ネジ（　Ｍ８　）で締めて取付けします。

・メインベースを付属ネジ（　Ｍ６　）でしめて取付けします。（図－11 参照）
　メインベース固定ネジは、７５mm以上の間隔をあけて締めて下さい。（タップ穴、中４個分間隔あける）

図－10

図−11

③、手動パーキングレバー取付します。

○足踏みパーキングブレーキに左アクセルペダル、足等が干渉してしまう時、足踏みパーキングブレーキをカットし、手動パーキングブレーキレバーを取り付けます。

図−12

注意：ペダル切断面はヤスリ等でバリ取りすること。

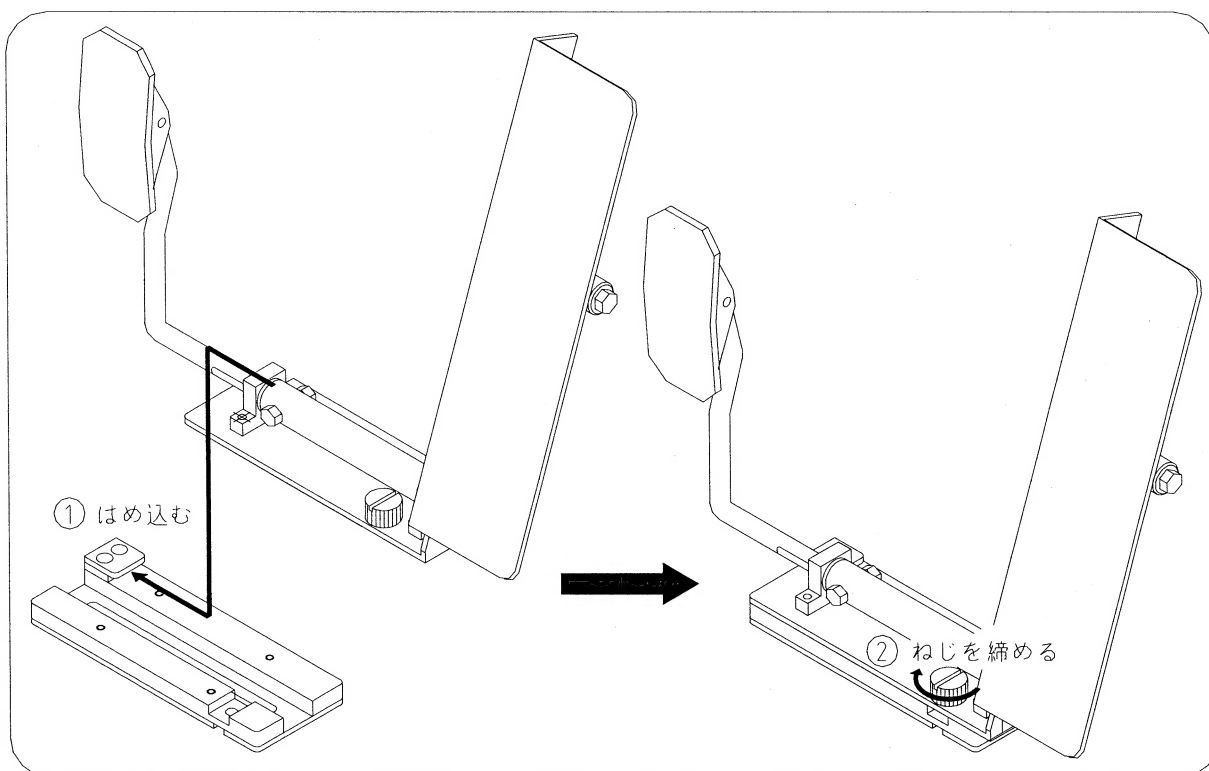
④、左アクセルペダルのセット

① ベース側フックに本体ベースの切欠きをはめ込むようにセットします。

② 固定ネジを右回しで締め付けます。

 注意：固定ネジは、ネジ穴に対し真っ直ぐ入るようにしてください。
ネジ山を壊す恐れがあります。

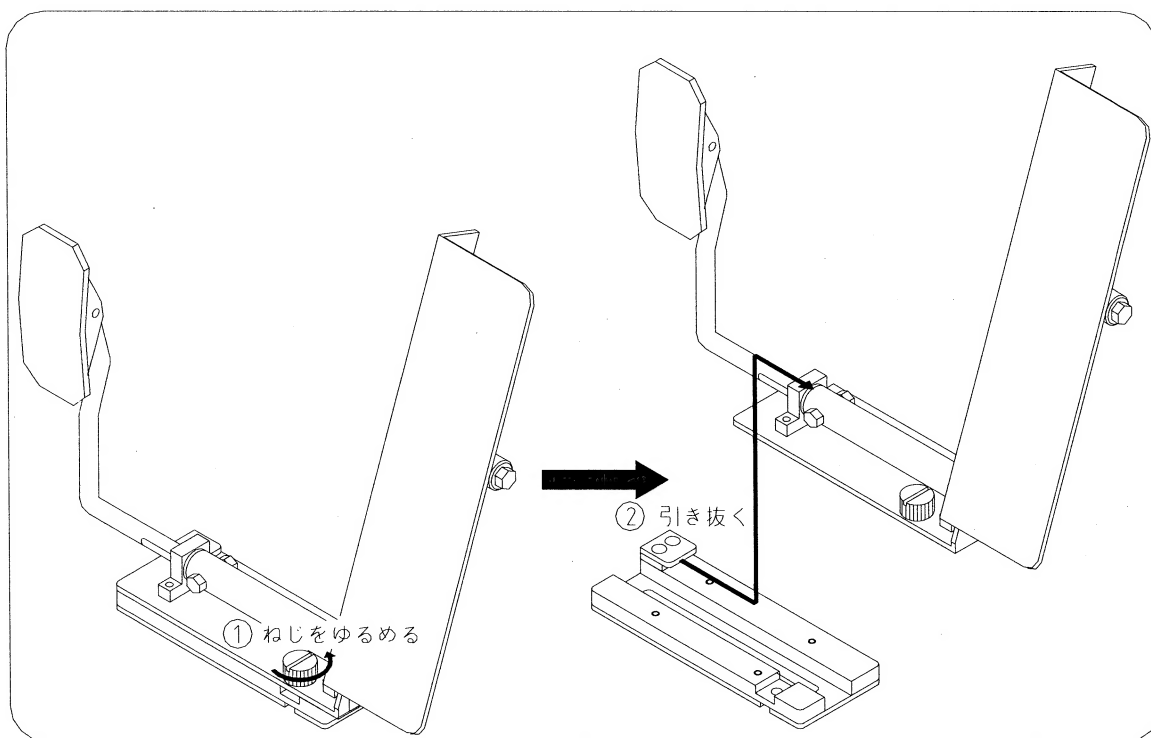
 注意：床にゴミ等が溜まると、本体が取り付けベースに取り付けできない場合が有ります。
ベース部を定期的に清掃する事を推奨いたします。

 注意：取り付けの際、指など挟まないようご注意ください。

図－13

⑤左アクセルペダル取り外し（健常者使用の時）

① 固定ネジを左回しでゆるめます。

② 左アクセル本体を手で持ち、ベースより引き抜きます。

 注意：取り外しの際、指など挟まないようご注意ください。

図－14

⑥アクセル操作

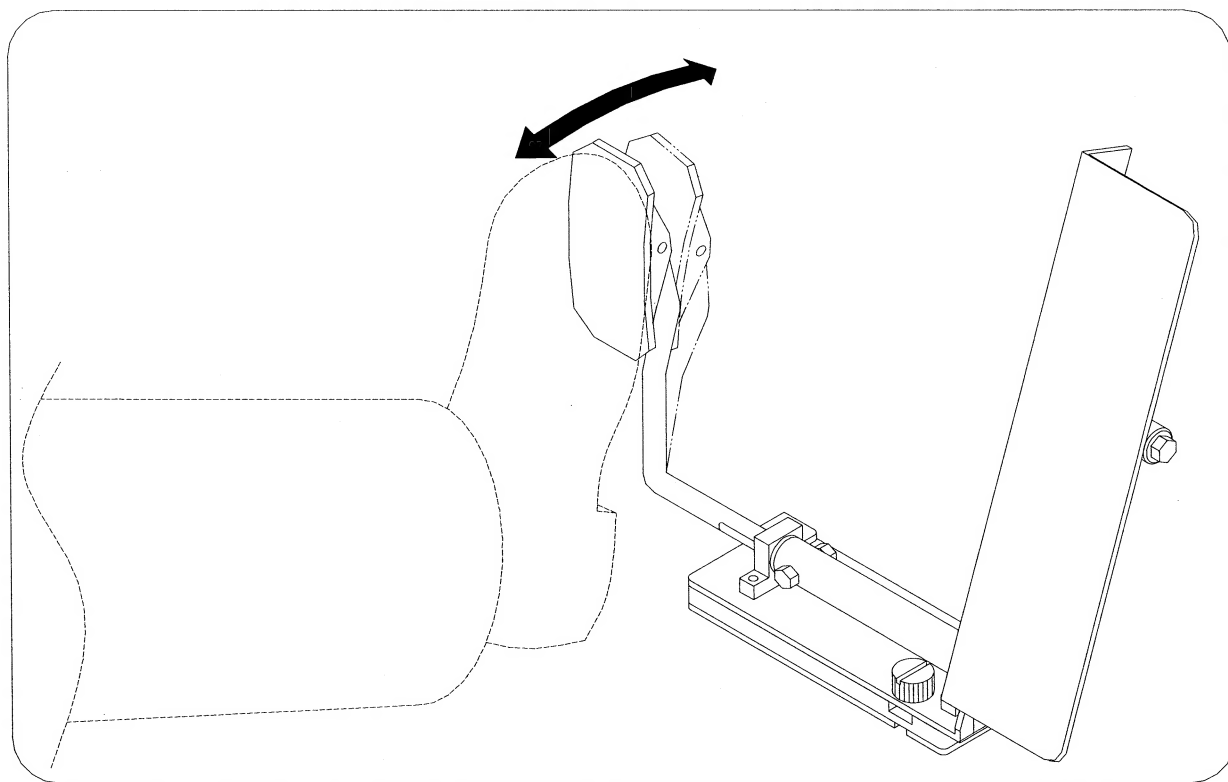
1、アクセルを開けてエンジン回転を上げる場合
　ペダルを徐々に踏み込みます。（慣れない内は、ゆっくり操作して下さい）

2、アクセルを戻してエンジン回転を下げる場合
　ペダルを踏む力を緩め、アクセルペダルから足を離します。

3、踏み具合によりエンジン回転を調整します。

注意：力加減の慣れていない場合、急激にアクセルが開いて急発進をしてしまう場合があります。十分注意して下さい。

注意：装置に慣れるまで公道での運転には十分注意して下さい

注意：ストッパーに足を置き、フットレスと同様に踏まないで下さい。
万一、アクセルストッパーが外れたり、曲がってしまったりしますとアクセルが作動し思わぬ事故につながる恐れがありますので、十分注意して下さい。

図－15

⑦パーキングブレーキ操作（足踏み式パーキングブレーキ車）

左アクセルを使用するためのスペース確保の為、足踏みパーキングペダルをカットし、手動式パーキングレバーを取り付けすることが有ります。

足踏みパーキングペダルの操作方法は車種により異なります。

取り付け車両の取扱い説明書を御参照下さい

図－16